

2026年3月期 月次速報

※本資料の数値は、POS売上・受注等に基づく速報値です。実際の決算数値とは異なりますのでご了承ください。

1. 月次前年比

(%)

	4月	5月	6月	1Q	7月	8月	9月	2Q	上期計	10月	11月	12月	3Q	1月	2月	3月	4Q	下期計	累計
デンキセグメント	99.8			99.8					99.8										99.8
住建セグメント	109.3			109.3					109.3										109.3
金融セグメント	107.7			107.7					107.7										107.7
環境セグメント	112.3			112.3					112.3										112.3

※以下、速報値を使用しており、決算数値とは異なります。

- ・デンキセグメント：POS売上高
- ・住建セグメント：受注・売上高（※住宅販売等は受注高、その他の住設機器販売・施工等は売上高を合算した数値です。）
- ・金融セグメント：売上高
- ・環境セグメント：売上高

2. 概況

- ・デンキセグメント：4月度は、前年と比べ暦の影響はありませんでした。売場面積に関しては、IDC OTSUKA 池袋ショールーム等のオープンにより増加しました。（4月実績：出店数4（前期1）、売場面積増減 10,235㎡（前期3,751㎡））
なお店舗数に関しては、前年度において45店舗の退店・店舗統廃合を実施した影響で、前年同月対比で減少しております。（4月時点 店舗数：952店（前期974店））
当月においては、パソコンや携帯電話といった情報機器や、家具・インテリア、リフォームは前期を上回る実績となりました。
一方、生活家電の売上が伸び悩み、中でもエアコンは前年補助金や気温の上昇により北海道・東北で特需があったため、その反動減により全体実績を押し下げる実績となりました。
- ・住建セグメント：各種キャンペーンの実施により住建事業全体が堅調に推移しました。特に分譲住宅の受注が大きく伸長し、前期を上回る結果となりました。
- ・金融セグメント：NEOBANK住宅ローン及びヤマダデンキのリフォーム事業と連携したリビングローンが好調に推移し、前期を上回る結果となりました。
- ・環境セグメント：リユース事業及びPC製造事業が伸長し、前期を大きく上回る結果となりました。

3. 直営の店舗数推移及び売場面積

今期実績（前年）	4月	5月	6月	1Q	7月	8月	9月	2Q	上期計	10月	11月	12月	3Q	1月	2月	3月	4Q	下期計	累計
新 店	4（1）			4（1）					4（1）										4（1）
退 店	1（2）			1（2）					1（2）										1（2）
改 装	0（2）			0（2）					0（2）										0（2）
店舗数	952			952					952										952
売場面積（㎡）	2,883,053			2,883,053					2,883,053										2,883,053
面積増減（㎡） （前年同月対比）	31,102			31,102					31,102										31,102
面積増減（％） （前年同月対比）	101.1％			101.1％					101.1％										101.1％

面積増減（前年度末対比）

今期実績（㎡ / ％）	10,235 (100.4)			10,235 (100.4)					10,235 (100.4)										10,235 (100.4)
前期実績（㎡ / ％）	3,751 (100.1％)			3,751 (100.1％)					3,751 (100.1％)										3,751 (100.1％)

※店舗数及び売場面積は、いずれも月末時点の数値です。

※売場面積は、新店のほか店舗改装等により変動する場合があります。

※退店の増加は、LIFE SELECTをコア店舗としたS&Bによる退店です。売場面積増に向けた店舗開発は計画通り進捗しております。

※改装は、業態変更を伴う店舗改装実績の数値です。